

コストや労力を抑えてウンシュウミカンの果実品質を向上できる片側S.マルチ栽培

背景

シールディング・マルチ栽培（NARO S. マルチ）については、果実品質は向上するものの、導入に多大なコストや労力がかかることが問題でした。

成果の内容

片側S. マルチ栽培は、従来のS. マルチと比較してコスト及び労力を半減でき、慣行栽培より糖度が高く、色づきの良い果実が生産できます。

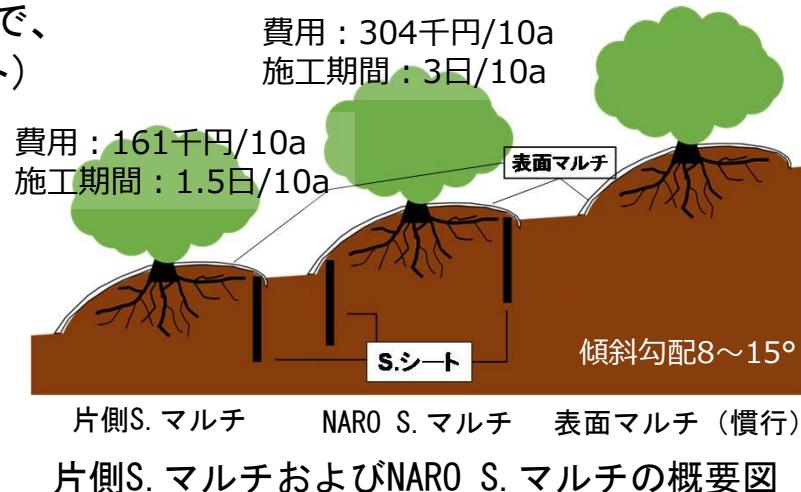
NARO S. マルチとは、緩傾斜地で、畝に垂直に止水シート（S.シート）を埋設する栽培技術

○簡易的な根域栽培が実現

- ・改植が必要ない
- ・根域への浸水を防止
- ・マルチ外への根の伸長防止

○高品質果実を安定的に生産

- ・水分ストレスを適切に付与



令和4~6年 果樹部調査（「北原早生」）

試験区	着色歩合 (0-10)	果皮色 (cc)	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	クエン酸 (%)
片側S. マルチ	9.2	7.0	75.5	14.0	1.0
表面マルチ(慣行)	8.6	5.7	88.7	12.1	0.8

慣行栽培と比べて

果皮の赤味が強くなり、果実糖度が上昇する。

【研究者のコメント】

○片側S. マルチの普及により、消費者においしいミカンが届けられるとともに生産者の経営安定に寄与できれば幸いです



（果樹部 果樹育種・栽培チーム）